

わくわく園庭日記

蒲幼稚園 No.7 R 2, 10, 2

日に日に秋が深まっていきます。山から下りてきたのでしょうか？先週の園庭上空には、トンボが驚くほどたくさん飛んでいました。虫取り網を構えて外に出てきた子どもたちは、「あっちだ！こっちだ！」とトンボを追いかけて網を振ります。見事、トンボを捕まえた子は、ちょっとした憧れの的に！「僕が捕まえたんだよ！」とみんなに見せまわっていました。トンボを捕まえるには、俊敏性や距離感、そして集中力が必要です。それに加えて今回の場面からは、友だちとの協力、トンボを掴む力加減、そして再び空に返す優しさや名残惜しさなど貴重な経験をしているなと感じました。



挑戦する心

友だちが次々と集まってきて、あっという間に長い列ができました。自分の番がやってくると恐る恐る竹馬に足をかけます。「こんなの簡単！」と余裕を見せていた子も、やってみるとなかなかコツがあるので真剣な表情に。それだけにできたときは嬉しく、できないものすごい悔しさが込みあげてくるようです。下唇をぐっと噛みしめ、何度も列について挑戦している子に気が付きました。その子にとっては、自分自身と向かい合う大切な時間であると感じました。

運動会に向けた活動を通して、子どもたちの心の中には「挑戦する心」が大きく育ったようです。先日、心と見つけた竹馬に興味を持った月組さん。「やってみたい！」と自ら挑戦し始めました。



落ち葉のおしゃべり

桜の葉が色付き、ひらひらと舞い落ちてきます。その葉っぱで、こんな可愛い作品を作っていました。目や口は、ちぎって空けた穴。目ができたとたん、葉っぱに命が宿り、私たちに話しかけてくるようです。何てお話ししているのでしょうか？制作している子どもたちだけでなく、傍で見守る私たちの想像力をも掻き立てる楽しい遊びになりました。



どの葉っぱにしようかな…？

アレチヌスビトハギの種も見つけたよ！体操服にこっぴつて面白いね。



おおきなカボチャ おしゃれなカボチャ

今年も在園児のお宅よりいろいろな形のカボチャをたくさんいただきました。自分で見て、触って、感じたことを試し、楽しく遊んでいます。さらに昨年いただいたカボチャから取り出した種を蒔いたところ、たくさんの芽が出てきました。真夏の暑さに枯れてしまった第一陣に続いて、今再び芽を出し、青々とした葉を茂らせています。果たして花が咲くのでしょうか？植物の生長を通して、自然界の一巡を見て学べたらいいなと思っています。



花組さんは、ポックリに挑戦。バランスを取りながら、手と足を一緒に上げ下げするのは難しいことで、この遊びが竹馬の基礎になっていると感じます。月組さんと同じ気持ちになってポックリを楽しんでいる花組さんに、子ども自身で遊びのレベルを見極め、選択して取り組んでいることに感心しました。慣れてくると平地を歩くだけではもの足りなくなり、土山を登る、かけっこをする、障害物を乗り越えるなど、新しいことを見つけて、果敢に挑んでいました。一つ一つの小さな課題を乗り越える度に自信を付けていく様子を感じられました。

お願いします！

自分で目標を掲げたり、粘り強く取り組んだり、教え合う姿が見られたり、竹馬を通して子どもたちの中に育つものの大きさを感じています。しかし、現在竹馬が2セットしかありません。竹馬の作り方をご存知のお家の方（おじいちゃん、おばあちゃんでも構いません）はいらっしゃいませんか？是非私たちに教えて下さい！

竹馬で1、2歩歩ける子が出てきました。すると歩けた子が教える側になり、自然と学年が入り混じっていきました。「大丈夫、できるよ」「すごい、歩けたね」「もう少しでできるよ」「もう一回やってみな」と励ましたり、褒めたり、子ども同士で上手に声を掛け合っていました。



おしゃれなカボチャに目をつけてみたよ

カボチャの家族みたいだね

坂を転がしてみたよ

大きなカボチャも抱っこできたよ



水に浮かぶかを試したよ

